



平成 27 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
 代表者名 代表取締役社長 安田 康一
 (JASDAQ・コード：8256)
 問合せ先 執行役員管理本部長 森本 裕文
 (TEL 06-6262-0303)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 30 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 9 月 20 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,740	58	△10	△13	△0.66
今回修正予想(B)	6,069	△141	△209	△212	△10.55
増減額(B-A)	△671	△199	△199	△199	
増減率(%)	△10.0	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	6,877	△20	△86	△71	△4.05

(2) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 21 日～平成 27 年 9 月 20 日)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,650	△10	△13	△0.66
今回修正予想(B)	6,008	△193	△196	△9.76
増減額(B-A)	△642	△183	△183	
増減率(%)	△9.7	—	—	
(ご参考)前年第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—

2. 修正の理由

(1) <連結業績>

主力の卸売業においては、当社独自のアプリ開発により香港、台湾を中心とする海外顧客への拡販等の販売強化策を実施した結果、当初計画を上回る売上高で推移し、収益面においてもマーチャンダイジング機能の強化を推し進めたことにより、マークダウン率の削減や在庫回転率の向上が実現し、改善効果が現れました。しかしながら、今期より開始した免税事業においては、集客面に課題があり、売上高および損益面について当初計画を大幅に下回ったため、第2四半期累計期間の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、下記「3. 業績改善に対する取組状況」に記載の改善諸施策の進捗を含め下半期の動向が不透明なため、通期業績予想は据え置いております。今後、業績予想修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

(2) <個別業績>

連結業績予想数値と同様の修正理由であります。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

3. 業績改善に対する取組状況

免税事業におきましては、集客力の増強や店頭販売力の強化につきまして、業務提携先である株式会社道紀忠華シンクタンクとともに国内外の旅行社やバス運営会社と協議を進めております。また、個人旅行者の集客拡大に向けても、目指すべき売場づくりや、広報活動について社内協議を進めております。

卸売事業におきましては、引続きマーチャンダイジング機能強化等の収益改善策を推し進めるとともに、済南総合保税区和株式会社道紀忠華シンクタンクとの出資により設立された「済南総合保税区和丸光商貿有限公司」への商品供給の準備を進めております。また、9月23日から25日にかけて、中国山東省濰坊市で開催された中日韓産業博覧会に出展した際に、当社の取扱う日本製商品について来場者より多数の問い合わせを頂いたことから、中国国内における日本製商品に対するニーズは大変強いと確信しており、クロスボーダー電子商取引等により、中国国内に高品質な日本製商品を安価かつスピーディーに配送する貿易モデルを早急に構築できるよう、中国ネット通販企業をはじめとした現地企業と交渉を進めております。

以 上